

## 石油8企業が脱炭素化の協働に合意

### ◆BP、Shell、Total含む石油8企業が脱炭素化へのエネルギー移行原則で合意

2020年12月17日、BP、Shell、Totalなど欧州7社と米Occidental Petroleumは「エネルギー移行原則」に合意した。Climate Action 100+（運用資産52兆ドルを持つ500機関投資家が企業に環境対応を促すイニシアチブ）がこの原則を支持、欧米石油会社群による脱炭素活動の協業に関する合意である。合意内容は、1)パリ協定目標達成への国際協力などへの支持、2)バリューチェーン全体で排出削減、3) サプライチェーンにおけるエネルギー使用時を含む排出削減（Scope 3）、4) 炭素回収利用・貯留（CCUS）など炭素シンクの開発、5) 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の遵守、6)関係する業界への働きかけを行う、である。

脱炭素化に合意した主な企業の状況（※他に Equinor, Galp が合意, ARC まとめ）

BP (英)	Shell (英蘭)	Total (仏)	Repsol (スペイン)	Eni (伊)	Occidental Petroleum(米)
石油メジャー	石油メジャー	石油メジャー	南米含む 多国籍大手	半国有石油大手	準石油メジャー
<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年にScope 3を含むネットゼロ(20年2月発表)</li> <li>・英国CCUSプロジェクト Net Zero Teessideを主導する</li> <li>・石油・ガス探査の開発国の制限(20年9月)</li> <li>・Microsoftと脱炭素パートナーシップ合意(20年9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年にScope 3を含むネットゼロ(20年4月発表)</li> <li>・水素燃料にも投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年にScope 3を含むネットゼロ(欧州での事業)(20年5月発表)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油会社として世界で最初に50年にScope 3を含むネットゼロを宣言(19年12月発表)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年にScope 3を含むGHG排出量を18年比で-80%が目標(20年2月発表)</li> <li>・製油所をバイオ精製所に転換する世界で最初の企業となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年にScope 3を含むネットゼロ(下流部分)と米国石油企業で最初に発表(20年11月発表)</li> <li>・本社テキサス州、油田での炭素貯留事業を進める</li> </ul>

### ◆炭素貯留への投資、事業に関与し、Scope 3を含むネットゼロも目指す

合意した企業は、炭素回収・利用・貯留の開発から始める。具体的には、Totalは、CCUSに研究開発予算の10%を充てる。ノルウェーのEquinorは、同国でのShellとTotalの炭素貯留事業に参加、24年に150万t-CO<sub>2</sub>/年の炭素貯蔵能力を持つ予定である。また、Total、BP、Eni、Equinor、Shellは、英国初の商業を目指すCCUS事業に参加、30年に1,000万t-CO<sub>2</sub>/年の削減を見込む。Occidentalは、2,000万t-CO<sub>2</sub>/年の世界最大の炭素貯留事業を18年より進めている。Totalは、バイオ燃料への代替による低炭素化も開発する。

米Exxonは、21年1月、Scope 3削減は顧客に依存するため、実現が不確実との否定的見解を示したのに対し、合意した企業は、エネルギーの使用段階を含め、数億t-CO<sub>2</sub>/年という大きな温暖化ガス排出削減に向け、挑みだした。 【新井喜博】